

## 君羅久則名誉教授略歴

- 1948年3月16日 北海道に生まれる
- 1966年3月 北海道足寄高等学校卒業
- 1966年4月 弘前大学人文学部文学科入学
- 1970年3月 弘前大学人文学部文学科英文学専攻卒業
- 1970年4月 東北大学大学院文学研究科（英文学専攻）入学
- 1972年3月 東北大学大学院文学研究科（英文学専攻）修了
- 1972年3月 文学修士（東北大学）
- 1972年4月1日 小樽商科大学商学部講師
- 1977年10月1日 小樽商科大学商学部助教授
- 1990年3月 バーミンガム大学附属シェイクスピア研究所にて在外  
研修（1991年7月25日まで）
- 1991年10月1日 小樽商科大学言語センター助教授
- 1992年10月1日 小樽商科大学言語センター教授
- 2001年10月1日 小樽商科大学言語センター長（2007年9月まで）
- 2011年3月31日 小樽商科大学言語センター定年により退職
- 2011年4月1日 小樽商科大学特任教授
- 2013年3月31日 小樽商科大学特任教授契約期間満了により退職
- 2013年4月3日 小樽商科大学名誉教授

## 君羅久則名誉教授研究業績表

### 論文

- “On *Hamlet*: A Division between Thought and Act”  
1970年 学士論文（弘前大学）
- “Shylock and Barabas: Some Types of Jews in Elizabethan Drama”  
1972年 修士論文（東北大学）
- “‘Borrow’d Robes’ and ‘Naked Frailties’: an Essay on the Theme and Dramatic Structure in *Macbeth*—Viewed Mainly through Imagery”  
小樽商科大学『人文研究』第47輯 1974年
- “‘Best Befits the Dark’: A World of Irony in *Romeo and Juliet*”  
小樽商科大学『人文研究』第52輯 1976年
- “Sir Thomas Elyot’s *The Governour* and the Theme of Friendship in *The Merchant of Venice*”  
小樽商科大学『人文研究』第57輯 1979年
- “‘The Joys of Heaven Here on Earth’—Imagery and Themes in *The Merchant of Venice*”  
小樽商科大学『人文研究』第63輯 1982年
- 「高等学校用英語教科書 Unicorn I, II, and II B の語彙分析」（共著）  
小樽女子短期大学「研究紀要」第19号 1990年
- 「Elyot, Marlowe, Shakespeare の語彙分析と比較 —— コンピュータ利用による」  
小樽商科大学『人文研究』第83輯 1992年
- 「Elyot, Marlowe, Shakespeare の語彙分析と比較 —— ふりがなを利用して ——」  
小樽女子短期大学「研究紀要」第23号 1994年

### 学会発表等

- 「N. Frye の Myth Criticism について」  
東北大学院文学研究科研究会報告 1970年9月 於東北大学
- 「‘Borrow’d Robes’ and ‘Naked Frailties’ —— 主に Imagery から見た *Macbeth* の劇構成と主題 ——」  
日本英文学会北海道支部大会 1973年10月 於札幌大学
- 「‘Best Befits the Dark’ —— *Romeo and Juliet* の Tragic Irony の世界 ——」  
日本英文学会北海道支部大会 1974年10月 於北海道大学
- 「*The Merchant of Venice* における友情の主題について」  
日本英文学会北海道支部大会 1977年10月 於北海道大学
- 「*The Merchant of Venice* における Imagery の特質と機能」  
日本英文学会北海道支部大会 1981年10月 於北海道大学

「*Antony and Cleopatra* におけるイメージと主題」  
日本英文学会北海道支部大会 1998年10月 於北海道大学